

# バッハ「平均律クラヴィーア曲集第1巻」

(全6回)

作曲家・中村洋子 による アナリーゼ講座

## 第2回 平均律第1巻第2番 c-Moll プレリユードとフーガ

- 2番 c-Moll プレリユードは、1番 C-Dur プレリユード&フーガの発展形
- 2番 c-Moll フーガは、インヴェンションと平均律1巻の“掛け橋”

■日 時: 2018年3月24日(土) 14:00~18:00

■会 場: エッサム本社ビル 4階 こだまホール

住所: 東京都千代田区神田須田町1-26-3 TEL: 03-3254-8787  
(JR 神田駅 北口 徒歩3分 ※エッサム1、2号館ではありません)

■受講料: 4,000円(税込)

■定 員: 70名

1月26日より  
受付開始!

## なぜ、平均律クラヴィーア曲集がクラシック音楽の根源なのか



1番 C-Dur フーガは、眩しく目がくらむ程の光の世界でした。その最終小節は、息詰まる緊迫感で、C-Dur 上行音階をかけ上ります。一転して、2番 c-Moll プレリユードは、悲哀に駆り立てられ、疾走しているかのようです。この曲だけを単独で見ましても、素晴らしい完成度です。しかし、私の著作《ベーレンライター平均律第1巻楽譜・添付解説書》の【注31】でご説明しましたように、この2番プレリユードは、1番フーガから発展したもので、相互が鶯のようにがっちりと絡み合っています。平均律1巻の24曲を、巨大な1曲とする構想の一環なのです。その観点から2番を勉強しますと、どう弾くべきか、どう解釈すべきかが、自然に分かってくるでしょう。

2番フーガは、軽やかな舞曲を連想させます。その主題は、インヴェンション15番 h-Moll の主題冒頭2拍分と、全く同一のモチーフです。これは単なる偶然ではありません。2番フーガとインヴェンション15番とを対比させることで、バッハの作曲意図を明らかにします。

「インヴェンション&シンフォニア」と「平均律第1巻」を、バッハがどのようなサークル(円環)の中で構想し、作曲したかを分かりやすくお話いたします。

(講師: 中村洋子より)

《申し込み・お問い合わせは》

**アカデミア・ミュージック株式会社** 企画部

Tel. 03-3813-6757 (日曜定休)

E-mail. [kikaku@academia-music.com](mailto:kikaku@academia-music.com)

(お申込みの際、お名前、住所、電話番号を明記してください。)

※定員になり次第、締め切らせていただきます。

講師：作曲家 中村洋子

平均律クラヴィーア曲集第1巻 第2番 c-Moll

・プレリュード

全 38 小節のプレリュードは、28 小節目に presto、34 小節目に adagio、35 小節目に allegro と、平均律 1 巻の中では異例の tempo 記入が 3 箇所もなされています。2 番プレリュードは、1 番プレリュードの意表を突いた「変奏」と見ることも可能です。冒頭から 24 小節まで続く 16 分音符音型の解釈の仕方により、演奏が金色にも銀色にも輝きます。

・フーガ

バッハの自筆譜では、左頁 1 段目から主題が「一声」で始まります。「二声」になるのは、やっと 3 小節目からです。全く同じその主題を、右頁 1 段目では二つの対主題を伴って「三声」で展開します。“ここをよく勉強しなさい”という、バッハ先生の声が聞こえてきそうです。このフーガの眼目は、「3 度音程」の集合体である「音階」にあるといえそうです。

プロフィール

東京芸術大学作曲科卒。

・2008～15 年、「インヴェンション・アナリーゼ講座」全 15 回を、東京で開催。

「平均律クラヴィーア曲集 1、2 巻アナリーゼ講座」全 48 回を、東京で開催。

自作品「Suite Nr.1～6 für Violoncello 無伴奏チェロ組曲第 1～6 番」、  
「10 Duette für 2Violoncelli チェロ二重奏のための 10 の曲集」の楽譜を、  
ベルリン、リース&エアラー社（Ries & Erler Berlin）より出版。

「Regenbogen-Cellotrios 虹のチェロ三重奏曲集」、「Zehn Phantasien für Celloquartett(Band1,Nr.1-5) チェロ四重奏のための 10 のファンタジー(第 1 巻、1～5 番)」をドイツ・ドルトムントのハウケハック社 Musikverlag Hauke Hack Dortmund から出版。

・2014 年、自作品「Suite Nr. 1～6 für Violoncello 無伴奏チェロ組曲第 1～6 番」の SACD を、  
Wolfgang Boettcher ヴォルフガング・ベッチャー演奏で発表。(disk UNION : GDRL 1001/1002)レコード芸術特選盤。

・2016 年、ブログ「音楽の大福帳」を書籍化した《クラシックの真実は大作曲家の「自筆譜」にあり!》～バッハ、ショパンの自筆譜をアナリーゼすれば、曲の構造、演奏法までも分かる～(DU BOOKS 社)を出版。

・2016 年、ベーレンライター出版社(Bärenreiter-Verlag)が刊行したバッハ「ゴルトベルク変奏曲」Urtext 原典版の「序文」の日本語訳と「訳者による注釈」を担当。

・2016 年、ギターソロと二重奏の作品集「夏日星」を収録した《CD 夏日星》を発表。

・2017 年、ベーレンライター出版社(Bärenreiter-Verlag)が刊行したバッハ「平均律クラヴィーア曲集第 1 巻」Urtext 原典版の《「前書き」日本語訳》《「前書き」に対する訳者(中村洋子)注釈》《バッハ自身が書いた「序文」の日本語訳》《バッハ「序文」について訳者(中村洋子)による、詳細な解釈と解説》を担当。

・2017 年、「チェロ四重奏のための 10 のファンタジー(第 2 巻、6～10 番)」を、ドイツ・ドルトムントのハウケハック社 Musikverlag Hauke Hack Dortmund から出版。



アナリーゼ講座「平均律クラヴィーア曲集第 1 巻」 今後の予定

第 3 回：5 月 26 日（土）14:00-18:00

第 4 回：7 月 21 日（土）14:00-18:00

第 5 回：9 月 22 日（土）14:00-18:00

第 6 回：11 月 17 日（土）14:00-18:00

会場はすべて、エッサム本社ビル 4 階 こだまホールで行います。